

レーザー三次元計測システム

簡測くん

NETIS 登録番号:KT-140030-VR

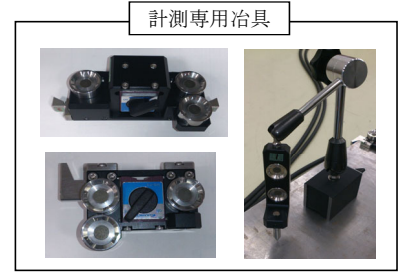
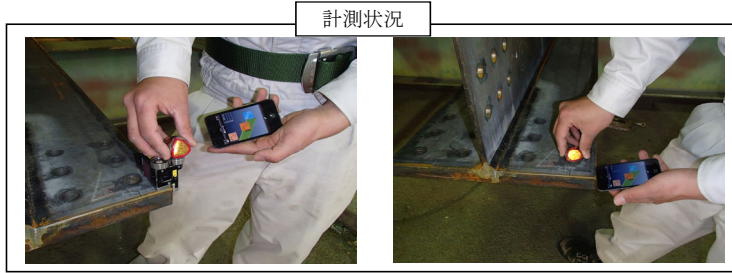


簡測くんは、レーザートラッカーの技術を利用した計測システムで、Leica AT401を使用したものです。計測ターゲットの設置が不要の計測器であり、計測対象物の任意の点に計測球を接触させることにより、計測したい点の三次元座標をダイレクトに求めることが簡単に出来ます。



計測ターゲットの設置が不要

計測専用治具を使用することにより、フランジコーナー点やボルト孔中心点を、ターゲットレスで簡単に計測することができます。



操作が簡単

計測球とワイヤレスリモコンにより、ターゲットレスで任意の点を簡単に計測することができます。計測制御用ソフトウェアはPolyWorksを使用し、繰り返しの作業はマクロ化してカスタマイズすることが可能です。

計測精度と計測範囲

計測精度 $15\mu + 6\mu/m$ 程度 1/133,000 (10mで±0.075mm程度)
計測範囲は半径160m(直径320m)の計測が可能で、最小距離は1.5mほど計測対象物から離れる必要があります。

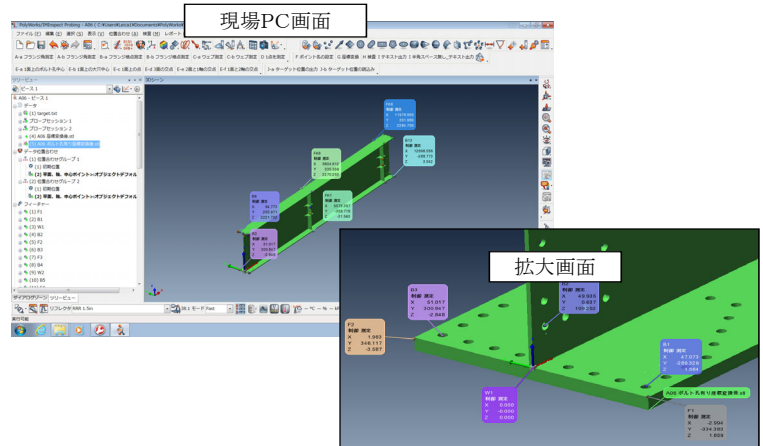
機能・仕様

LeicaAT401本体重量:7.3kg、コントローラー:0.8kgの小型軽量で、専用ケースに収納して1人で持ち運べます。
防塵・防滴構造(IP54 認定)により、粉塵、水滴の影響がある環境や屋外での使用も可能です。
バッテリー駆動(6~8時間)が可能で、完全ケーブルレスの作業が可能です。
Wi-Fiによる無線通信で、本体⇄制御用PC⇄リモコンでワイヤレス操作が可能です。



計測結果の比較・確認

現場のPC画面上で、計測された点と三次元設計モデルを重ね合わせ表示させながら作業が出来るので計測ミスが無くなります。また、従来通りの計測座標値と設計座標値の数値比較を行うことが可能です。



計測データの出力

計測データはtxt形式、csv形式や、CAD用のdx形式で出力が可能です。

Symphonyとの連携※1

計測データは計測点番号マッチング・温度補正・倒れ補正を行い、Symphony仮組立シミュレーションと連携が可能です。Symphonyとの連携には、汎用CADのBentley社製MicroStationが必要です。

※1 Symphonyとは、当社他5社により共同開発された橋梁製品モデル作成システムの製品名です。(NETIS登録:KK-040011-V)

対応OSと推奨PC

- 対応OS: Windows 7 64bit版
- 推奨PC: Core i7(2.2GHz)以上、メモリ8GB以上
HDD空きディスク10GB以上、画面解像度1280×1024(SXGA)以上
USBポート 空き2ポート以上、グラフィックボード:NVIDIA Quadroシリーズ
- リモコン: Apple社製 iPad、iPod、iPhoneが必要(ただし、iOS6以上でWi-Fi搭載モデルが必要)

販売元

日本ファブテック株式会社
〒302-0038 茨城県取手市下高井1020
TEL:0297-78-1119 FAX:0297-78-5344
URL:<https://www.j-fab.co.jp/>



製造元

東京貿易テクノシステム株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン28F
TEL:03-6841-8626 FAX:03-6841-8605
URL:<http://www.tbts.co.jp/>

